

リリース随筆

「エースのドーム」

みなさまこんにちは。教 した。 官部会の外池です。

神奈川県立歴史博物館は、たしか、だいぶ前のリリース随筆で「横濱三塔物語」株の影響なのか、今年に入で「キング」「クイン」が「ジャック」に次いで、ちなみに「エース」を加えて「4塔とする場合もある。」と締めくくった4塔目の「エースのドーム」だと思出ししました。折角ですので、この「神奈川県立歴史博物館(エースのドーム)」を調べてみました。1904年(明治37年)



訃報



全国港湾名誉顧問 植 草秀夫氏が2月15日(日)に逝去(享年98歳)されました。1988年に退任された後、植草さんは、海事検定職組、検定労連の委員長として日・祝完休闘争はじめ港湾産別運動の萌芽期より活躍され、1972年の全国港湾結成時には初代事務局長に就



横濱正金銀行の本店として建てられたネオ・バロック様式で、外観は建設当初の姿をそのまま残して、1969年(昭和44年)に国の重要文化財の指定を受けました。さらに、1995年(平成7年)には、近代における我が国の産業経済の発展を支えた重要な遺跡として、国の史跡指定を受けました。

この県立歴史博物館は、外観に威厳がありすぎて入りづらいといわれることがあり、気楽に入ったり、親しみを持つような愛称をこのこと、横濱三塔のどれよりも古く、威厳があり、ドームの形がエースの上部にある半円形のドームを指し、2013年頃か

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会



現在、さりげなく堂々と「エースのドーム」と呼ばれてはいますが、横濱三塔に、「エースのドーム」

現段階に呼ばれるようになるのでしょうか？ エースのドームは、建物像しています。

クイズ正解発表

全国港湾第346(新年)号に掲載された「トラ年クローズワードヒトライ!」に多数のご応募ありがとうございました。

正解は、「カガミモチ(鏡餅)」でした。

今年クイズへの応募正解者は、16名でした。抽選で粗品をお送りすることを決定致しました。商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

また、皆さまから寄せられた貴重なご感想・ご意見に感謝申し上げます。今後ともよりよい機関紙を目指していきたいと思っております。宜しくお祈り致します。

クローズワードヒトライ! 答カガミモチ(鏡餅) 15x15 grid word search puzzle with tiger illustration.

港湾産別協定29 ~休日・休暇について~

前々回黒抜の働く者 巨大な合理化の波が港を襲うことになりました(合理化)反対、事前協議制度や8時間労働制確立を歴史と共に見つめ、これを基本に前回の産別協定の「休日・休暇、作業体制」について考えてきました。今回から第6章「休日・休暇」に進む予定でしたが、「休日」と港湾産別運動の関係に触れない訳にはいきません。全国港湾は、本年11月に結成50周年を迎えますが、「休日」は全国港湾結成の歴史を成す闘いによって獲得されたもので、港湾産別運動の第一歩を刻む記念碑的「制度」と言えるからです。

港湾産別運動の歴史を檢討するコーナーではないので、詳細は割愛しますが、戦前の賃金体制、自由にもいえない痛苦の時代を経験した労働者は、この抑圧から解放されるがごとく、全国の地域・職場・産業界で労働組合を誕生させます。港湾労働者も労働組合を結成し、産業界の民主化や労働条件整備などの諸要求を掲げ闘い続けます。当時の港湾には「休日」がなく、港は365日フル稼働でした。日本経済は、戦後10年を経て50年開き、「日曜・祝日の完全休日の獲得」を統一課題と決議し、続く10月には「日曜祝日完全獲得」全国港湾労働組合連絡会議(7組合7港)を結成します。その1ヶ月後、

11月12日の毎日「祝日労働したものに対しては、代休日を保障する。その代休問題等については、企業の労使で協議して決める。」との通り、第28条は以上の通り、第28条は読んで字のごとくです。大きな推進力は、各港の単組を超えた「産別結集」で、これが全国連絡会議へと発展します。この連絡会議を母体、更に諸要求を前進させるべく69年に「港湾関係労働組合春闘連絡会議」へと強化され、87-89年、夜荷役禁止、日祝完休要求を掲げて69春闘を闘いました。その総括において更なる産別闘争強化が必要となる「地区・現場」の産別結集の力だったという事です。それは、6大港船内関係労組が提唱した「有馬会議」が起点になっていたことを見る事ができます。二つ目は、あらゆる職種に就く港湾労働者が、その所属する労働組合の枠を超え「日曜・祝日を完全休日に」という「統一要求」で団結し、「統一行動」でそれを実現して来たことです。この原動力は、港湾産別運動の要中の要、素晴らしい伝統であることを強調しておきたいと思えます。次回はこの「休日」から週給「百割」を目指す闘いと、その成果である「5・9協定第29条」に進むことにします。